

令和2年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和2年10月13日（火）

地区 柏木町地区

会場 川沿町総合福祉会館

〈意見交換〉

○司会 それでは、続いては、意見交換の時間に移りたいと思います。

これからの時間は、町内会からの要望事項やテーマプレゼンテーションの内容のほか、地域の課題などに対する意見交換を中心に、遅くとも8時には終了するように進めてまいります。お時間に限りがございますので、大変申し訳ございませんが、お一人につき1件ずつ、3分以内で簡潔にご発言いただきますようご協力ください。

なお、町内会全体に関わらないような個人的な要望や苦情などにつきましては、発言を制止し、まちかどミーティング終了後に個別にお話を伺わせていただくことといたしますので、あらかじめご了承ください。

また、今年のまちかどミーティングは全体の参加人数を制限するため、後ろ側をご覧のとおり、市側の出席者につきましても例年よりかなり少なくなっております。そのため、ご意見の内容によりましては、本日この場での回答が難しいものもあるかと思われませんが、その場合には担当部署に引き継ぎまして、後日改めての対応となりますことをあらかじめご了承ください。

なお、発言する際には、最初に町内会名とお名前を述べてからご発言願います。事前要望に関する意見の場合には、併せまして何番目の要望に関するものなのかについてもお知らせください。

最後に、繰り返しとなりますが、ご発言はお一人につき1件ずつ、3分以内でお願いいたします。

それでは、ご意見のあります方は、マイクをお持ちいたしますので、挙手をお願いいたします。どなたかご意見お持ちの方いらっしゃいませんか。

はい。

◆市民 宮の森町内会の■■■■です。よろしくお願います。

町内に関わってのを中心ということですので、要望事項を出した以降に、実は先日、うちの町内会の、うちの近辺で水道工事が始まるという案内が入ったんですよ。水道工事の日にちを見ましたら、10月から来年の3月までということで、多分道路の掘り起こしとか、水道管が交換だとかってやるんだと思うんですけども、これ昨年もしかちちょっと言ったと思うんですけど、この凍結時期に入るときの、いわゆる道路工事というの終わった後に、宮の森全てがそうだというわけではないんですけども、昨年も12月を挟んで道路工事が終わった後に、せっかく舗装した道路が波打って、それで補修をしてもらおうと。直ったところと、やっぱり再度また波打ってるところあるんですよ。ですから、こういう工事をやる場合に、特に苦小牧の場合、前にも言ったように、冬期間の凍結のひどい時期を避けてやっぱり工事をやる工夫というのもう少しでき

ないのかと。そうしないと、せっかくやった工事の後始末がまた大変になるんじゃないかというのがある、今回はもう工事に入ることですから仕方がないかなという気はするんですけども、もっと検討の余地があるんじゃないかなと思うので、その辺どうなんでしょうか。

○司会 それでは、水道工事に関しまして、冬期間を避けて工事をやる工夫はないかというお話でございました。

◎副市長 副市長の佐藤でございます。

後ろ、今日水道の人間ちょっと来てないものですから、私のほうで代わってお答えさせて、■■■■さんおっしゃるとおり、できれば私どもも冬期間の工事というのは避けて年間の仕事をしたいなって、それは同じでございます。特に春先になると、おっしゃったとおり、一旦舗装したところも傷んだりって、それはまれにはないんですけども、あることは事実でございます、そういったことも、我々としては分かっているながらも、年間の工事の中でスケジュール組んで、どうしても冬になってしまう場合があるんですね。そこについては、たまたまご指摘のとおり、宮の森で2年続けてということで大変申し訳ない、ご迷惑をかける話であるんですが、おっしゃるとおり、できるものであれば春先からやって、冬が来る前にきちっと、僕らよく転圧っていいんですけども、埋め戻した後もしっかりと土を押さえて舗装にかかれればいいというのは、一番いいんですけども、先ほど申し上げたとおり、年間のスケジュールの中で順繰りやってくるものですから、どうしてもそうやってご迷惑かける、あるいはご指摘を受けるような工事もしなきゃならないということで、ただ2年続けてのお話だということでございますので、私しっかりと今のお話持って帰りますので、担当部署にもしっかりとそこは伝えて、できるものであれば前倒して、冬季に入る前にそういったことに努めるようにということで、間違いなく私お預かりして、持って帰ってお伝えしますということで、今日のところはご理解いただきたいと思います。以上です。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 よろしいでしょうかと言われても、よろしくないと言えない……、本当にもったいないと思うんです。それで、道路工事やっていた近辺の人と話しても、直した後に波が打つてのを、素人が見ても分かります。そういう工事というのはありなのかという、やっぱりこういうのあれですよ。

◎副市長 これ2つ理由ありまして、冬場の工事で、冬場であっても掘った後埋める土を、凍った土なんか埋めたら、それは不正工事になりますので、乾いた土とかで埋め戻して、転圧もきちっとしてやるんですが、冬場だと、凍上っていいんですけども、その後に、いわゆるもともとあった、地山って言い方しますが、地盤と新しくしたところでどうしても凍上で違いが出てくるんですね。それを原因でもって不陸を起こす、不陸というのは凸凹です。

それから、もう一つが、これはあっちゃいけないんですけども、どうしても冬期間施工だと、施工者の方も一生懸命やるんですけども、どうしても冬場だと、そこはちょっと夏場に比べると落ちたりってするんですね。おっしゃるとおりで、もったいないというのは一つあります。これはなぜかっていったら、春になったらまた改めてということになるんですが、そこは、今は責任施工になってまして、業者さんの責任においてしっかりと手当てをするということに、基本的に

はなってます。それで、改めての皆さんからお預かりした、上下水道部であれば料金収入を充てることになるんですが、そこもしっかりと業者さんに義務づけをして、そういったことがない、じゃあ、もっと早くして、夏場のいい時期にやらせてあげればってなるんですが、これはまた先ほど申し上げたとおり、年間のスケジュールの中でどうしてもなると。ただ、もう一度繰り返しますけども、今みたいにご指摘だとか、ご心配されてる方がいらっしゃるといのは間違いなく、事実でございますので、先ほど言ったように、私しっかりと今日のお話は持って帰るということでご理解ください。以上です。

○司会 ほかにいらっしゃいますか。

時間はたっぷりありますので。ほかにいらっしゃらない場合は終わってしまいますので。何かあれば。

◆市民 いいですか。何も無いんであれば。

○司会 よろしいでしょうか。

はい。

◆市民 いいですか。すみません、今日は多分1人一つぐらいだろうなと思って、特に町内会、各町内会のことで出てこないんであれば、一つ、昨年度もいろいろお願いしてたことで、うちの町内会に関わっては、町内会からの出口のところの十字路の交通安全でガードレールをつけていただいたり、川をさらっていただいたりということで、大雨もちょっと少なかったのもありますけども、心配したようなことは起きなかったんですよ。そういう点では非常にありがたいなというふうに思ってます。

ここ1年間でちょっと気になることが出てきたんですが、それ自然環境保全ということで新聞にも載ってて、市のほうでも検討するということだったと思うんですけど、厚真の風力発電建設に関わって、ちょうどあそこ弁天沼だとか辺りの自然環境との関わりも出てくるんだと思うんですよね。ここ二、三年の間に、自然環境という点では、あそこは野鳥のたくさん、いろんな野鳥がいるところで、ウトナイ湖周辺のやっぱり環境保全ということで、非常に大事な地域だということで、僕もそのニュースを知ったときは、ちょっとあそこに風力発電はまずいんじゃないかなというふうに思いました。ちょうど市の見解なんか書いてて、市のほうも何か検討しながら、厚真のほうと相談をするというような話もあったようなんですので、一つには、やっぱりあその自然をぜひ守る方向で、苫小牧市のほうも検討していただければというふうに思います。特にいろんな報道を見てると、絶滅危惧種だとか、準絶滅危惧種の野鳥なんか結構いるということで、日本全体の環境として見てもすごく大事な地域だなというふうに思いますので、その辺どうなってるのかなというのが一つと、それから、ここ1年ですごく太陽光発電が、錦岡のほうにパネルがたくさん建ったんですよ。これも2年くらい前に、僕ちょっと最後のほうで言ったと思うんですけど、あそこには結構野生の植物、時期でないと分からないんですけどね、スズランも咲いてるし、いろんなものが咲いてて、いい場所があるんですよ。これどこの土地なんだろうなと思って、市の土地だったらこのまんまでしばらく自然が保たれるのかなと思ったら、最近どんどん太陽光パネルが、その地域に近寄ってきてて、あと1年もしたら、もうこの自然なく

なるんじゃないかなというところがちょっと出てきてます。駒澤の線路挟んだ向かい側の、道路と線路の間の土地なんですけども、キスゲだとかエゾカンゾウだとか、それから、時期になるとアヤメも咲いてんのかな、それから、スズランだとか、非常に最近この辺では見られない、やっぱりものが出てるんですよ。ほんの小さな土地なんですけど、やっぱりそういうものもぜひ、できれば大事にしてほしいなというのを2年前ぐらいに言ったんですけども、非常に危ないなという感じがしてきてんですよ。私有地なんだろうなと思う、「私」って私のほうの土地だと思うんですけども、何とかならないのかなというのが。それこそ自然環境を守りながら、観光、資源まではいかないかもしれないけども、環境、観光という点でも、少し役に立つのかな。白老なんかでも海岸線だとか、それから、渡島では国縫のところ、そういう小さな土地だけ、やっぱり表示をして守ってるところがあるものですから、そういうあたりなんかも、市としては検討はできないのかなというのがあります。

○司会 それでは、自然環境保全につきまして、厚真の風力発電に関わってと、太陽光発電ですね、錦岡地区の。市からの回答をお願いします。

◎環境衛生部長 おぼんでございます。環境衛生部長の町田でございます。

風力発電の関係なんですけども、大阪の会社が計画をしまして、場所は浜厚真ということで伺ってます。ただ、市のほうには、そういう計画があるという報告を受けてるだけでして、実際それが行われるかどうかというのはまだ決定していないというふうに伺ってます。当然、大阪の会社も地元の声を聞いて、計画どおりやるやらないというのを決めたいというお話ししますので、今後まだ、そこでやるというふうにはまだなっていない状況でございます。

それで、先ほどお話ありましたとおり、野鳥の会なんかも、いろんな野生の鳥がいるので、あそこでやるのはどうかって意見もありますので、その辺の意見をしっかり聞いていくというふうにも、その会社から伺ってますので、この後の状況ですね、市としては見守っていくという形になろうかと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

◎副市長 怒られるかもしれないですけど、決して先ほど出たお父さんの頭のモデルではないんですけども、登場する機会がたくさんあって申し訳ないですけども、同じく副市長の佐藤です。

もう1点が、太陽光発電のお話しされてました。場所については、駒澤の南側というか、裏というか、と線路の間ですよ、確かに最近、太陽光発電のパネルがずらっと並ぶようになりました。あれについては、非常に正直難しいです。というのが、例えばあれが開発行為に当たるかどうかということもあります、開発行為というのは、難しい言葉でいうと、区画形質の変更といいますか、土をいじって今ある、例えば地盤を大幅に変えてしまうだとか、そういったときには開発行為の手続をしなきゃならないという場合が一つ出てきます。あと、例えば環境に対して、環境調査をやるかやらないかというのは、それも面積的な要件がありまして、一定以上の面積の開発行為をしなきゃならないというときにはきちっと、環境アセスっていいですか、そういった調査もした上で事業を行うというルールがあるんですが、先ほど■■■■さんおっしゃってる、多分です、多分じゃなくて、間違いなく個人個人の土地なんです。個人個人の土地ですので、小さい面積でパネルをやるといったときにそういった規制がかけれるかといったら、それはちょっと

また別な問題になって、非常に難しいところになります。多分というか、今お答えできるとすれば、今言ったように、個人個人でお持ちの、比較的、割と小規模な土地のところに、区画形質の変更なしに基礎を設けてその上にパネルってやられちゃうと、これ、行為的には全然違法性なくなってしまうんですね。確かにあぁいったとこって、昔の草花とかそのまま残った部分もあって、よく分かるんですが、手続等の中ではちょっと難しいかなというふうには、今思っております。以上です。

○司会 ■■■■さん、よろしいでしょうか。

◆市民 市のほうでもそういう場所があるということのを頭の中に置きながら、気をつけてもらう、残せるものであれば残していったほうがいいんじゃないかなというふうに思うものですからね。法的なことになると、多分いろんなことが絡んでくるんだらうと思うんで。

○司会 それでは、ほかにはいらっしゃいませんか。

はい、どうぞ。

◆市民 少しお時間があるということでございますので、柏木町内会の■■■■ですけれども、さっきごみの問題で、実はこの季節、非常に葉っぱの問題で、町内のいろんなところから苦情が来て、去年は家の前の木をもう、あるいは枝を切ってくれという人もかなりいました。緑地公園課にお願いして、何本か対応してもらったんですが、今葉っぱを集めて一定の袋、市から頂いてる袋でやるんですけど、何ぼやっても、これはもう繰り返しなんです。それで、ほかの地域でどうしてるか分かりませんが、どっか公園の一面に葉っぱを集めて、そこで、堆肥化するかどうかは別ですけども、皆さんの要望に応じて、1か所に集めて、それが飛ばないようにまたカバーしなきゃならないと思うんですけども、特にこもればの道で、すぐ北側の道路、これ一本がもうすごいんですね、風が吹いたり、雨が降ったりということ。それで、ここのところの葉っぱをどうやって運ぶのよということになるんですけども、何かいい方法があって、どっかでやってることがあったらご指導いただいて取り入れていただければありがたいんですが、毎年繰り返してることなんですけども。このことについては、だんだん皆さんも、年齢的にも年いってますので、水分をたっぷり含んだ葉っぱをいろいろ持ち上げるのも、もうみんな大変だと。柏木町の場合は、豊陵公園を定期的にみんな一生懸命ですね、清掃してます。ですから、すごくきれいですから、ですから、そういった点で、木に葉っぱになくなるまでこれは繰り返さなきゃならないんでしょうけども、何か方法論を考えていただいて、ご指導いただければなというふうに思います。うちの町内におります大西さんも、先般町内会の町民から、非常にそのことで苦情を受けたようでございますので、ちょっと頭悩ませてるんですけども、いろいろ方法論、あるいは解決策ありましたらご指導願います。

○司会 市からの回答をお願いします。

◎都市建設部長 都市建設部長をしております栗野と申します。よろしくお願いいいたします。

日頃より都市整備に関しまして、皆様にはご理解とご協力をいただいておりますことを、この場をお借りしましてお礼を申し上げさせていただきます。ありがとうございます。

今落ち葉の件でございますけれども、我々もそこはやはり危惧しております、日頃から、例

例えば道路でいきますと、街路樹とかございますけれども、できるだけ、最近、昔植えた木が成長してしまっていて、葉っぱもなかなか増えていくというような現象がございまして、道路なんかに関しましては、昨年樹木の適正化計画というのをつくりまして、ある程度の、例えば交差点から10メートルの範囲ですとか、街灯から5メートルの範囲は、ちょっと木を、老朽化したものを特に、中心に伐採するとか、そういった試みもしている状況でございます。あと、それから、公園の樹木から出るような葉っぱでございますけれども、それも緊急雇用という、雇用対策の事業の一環として、ごみ拾いと併せて葉っぱの拾いというのも発注というか、業務委託している状況でございますが、なかなか全市的に見ますとかなりの量がございまして、それで賄い切れる量ではとってもない状況でございます。

それで、皆様方にはいろいろとご迷惑をかけていることかと思っておりますけれども、今ご提案ありましたように、公園なんかで一回集約をしていただくという中で、我々がそこに行って対応させていただくとか、そういう皆様に一部ご協力をいただければならないところもあろうかと思っておりますが、もしそういったことで、できるだけ広く葉っぱが散らばらないような対策ができれば、ちょっと取り組んでみたいなというふうに思いますので、まずはちょっと検討させていただきまして、どっかモデルでもやってみてうまくいくようでありましたら、全市的に広げていくような取組をさせていただければなというふうに考えてございますので、ご理解をよろしく願います。

○司会 よろしいですか。ほかにいらっしゃいますか。

はい、どうぞ。

◆市民 川浴町内会の[]と申します。

災害が起きたときの避難所のことでちょっとお伺いしたいんですけども、今子供も少なく、各家庭でペットを飼ってたりする方、家庭も多いかと思っております。あと、家庭に、例えば認知症だとか、寝たきりとかで世話が必要だとか、集団にちょっとなじめず、周りに迷惑をかけるような家族がいると、なかなか避難所に避難するとしても、周りに迷惑をかけるのでいけないと、足が止まる人もいるんじゃないかなと思います。

そこで、何か避難所のマニュアルあるかと思いますが、やっぱりそういう人たちのために、安心して避難所に行けるように、こういう対処してますよというのを、広報などで定期的にシリーズ化して、みんなの心配事が分かって安心して避難できるような知らせをしていただければと思います。

あと、避難所も何か3日目からは町内会とかと一緒に運営していくように書いてあるんですけど、運営に町内会も関わるんですけど、やはり避難訓練とかでふだんから、いきなりやるというのもちょっと慣れてないと難しいかと思うので、避難訓練とかのときを利用したりして、模擬訓練というんですか、イメージしたりして、そういうこうできるといいんじゃないかなと思います。

あと、今回、2年前に厚真で地震がありまして、避難所生活があったと思うんですけど、やはり経験してみないと分からないことっていっぱいあると思うので、そういう経験したところか

ら情報交換をしたりして、実際に、なければ一番いいんですけど、起きたときにはなるべくスムーズに運営できるように情報交換とかしていただければと思います。以上です。

○司会 市からの回答をお願いします。

◎危機管理室長 防災を担当しております危機管理室の前田と申します。

今の避難所運営の関係で何点かお話ありましたけども、全く市といたしましても、こういった避難所の、今あったペットの問題、認知症の問題、本当に我々としても重く受け止めてるお話でございます。市といたしましては、この避難所の運営については、適時改定してるんですけども、避難所の運営マニュアルってつくってます、今最新版の中では、基本的にはペットも極力受け入れるように、あるいは認知症とか、要配慮者って災害弱者の方についても、いろいろとケアをしながら何とか避難所で受け入れられるような、そういったマニュアルはつくっていております。

そういったことを今度は地域の方々にどういうふうに落とし込んでいくかということであると、今年はコロナの問題がありますので、地域の防災訓練とか、ちょっと私ども行く機会はなかなかないんですけども、地域によりましては、そういう避難する際の受付の訓練ですとか、あるいは、先ほどお話ありました3日目ですとか、長期になりましたら、地域の皆様のほうの自主運営というケースもございます、そういったことのシミュレーションをするような訓練も、今までも、全部の町内会ではないですけど、やってきております。今年はなかなか、そういった今、訓練ができていない状況ではありますが、このコロナの状況を見ながら、また私ども出前講座という形で町内会様のほうにそういったお話をする機会も適宜やらせていただいていますし、あるいは単独の町内会、あるいは複数町内会声をかけて、そういった避難所運営の訓練なんかもしていますので、ちょっと今のコロナの状況を見ながら、そういったような啓発活動、あるいは訓練についてもまた復活させていきたいというふうに考えてございます。以上でございます。

○司会 よろしいですか。

ほかにはいらっしゃいますか。いらっしゃらなければ、少し予定時刻よりも早めになりますが、終了とさせていただきますけれども、よろしいでしょうか。

それでは、最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たりまして、岩倉市長よりご挨拶させていただきます。

◎市長 テーマプレゼンテーション見ていただき、あるいはいろいろご意見、ご質問をいただきまして、ありがとうございました。

今年のまちかどミーティングは、やはり避難所の問題が結構ご意見いただいています。特にコロナ禍で、本州のほうで定員の半分以下という定員に設定、三密対策のためにやっていて、苫小牧の場合どうなんだという質問も先般、先日もありましたし、万が一のとき、やはり安心・安全に関わる問題、課題というのは、市民の皆さんにとって一番身近な課題でありますので、市のほうも、そういった疑問、あるいは不安に対して、できるだけ確に市の考え方をお示しできるように、これからも誠心誠意頑張っていきたいなというふうに考えております。いずれにいたしましても、しばらくの間、感染状況が続くことになろうかと思えます。ご心配いただいている方もいらっしゃるかと思いますが、苫小牧では、もう数日で落ち着くというふうに思っております。

しかし、これからも我々油断することなく、しっかり感染防止対策に努めながら、感染拡大防止、あるいは地域経済対策、そして市民の健やかな日常という3つの重点軸で引き続き対策に励んでいきたいというふうに思っております。

これからも何かありましたら、町内会長さん、あるいは町内会の役員の方々を通じ、あるいは、今日は市議の皆様もいらっしゃいますので、どんなことでも市議に声を届けていただきたいな。それがしっかり、即やるようになったら、市役所大したもんだと思っていただいて結構ですし、なかなか動かなかつたら、市会議員が悪いというふうには言いませんけれども、ぜひみんなで、やはり声を届け合って、みんなで協働しながら住みよい町をつくっていくという時代でありますので、ぜひ何かありましたら、少しでも早く声を届けていただくように重ねてお願いを申し上げます、最後のご挨拶に代えさせていただきます。今日はありがとうございました。（拍手）

○司会 以上をもちましてまちかどミーティングを閉会いたします。ご帰宅後には手洗い、うがいを徹底していただきますようお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。